

#### 設問1 A

Aは正しいです。 リソースの計画を立てる  
計画段階の間に記録されるべきである  
テスト計画 B、C、Dは遅すぎます。

---

#### 設問2 B

Bは正しいです。 この情報は監視に使用できます。  
プロジェクトを進め、傾向を決定し、プロセス改善に貢献します。 AとCは、どちらもプロジェクト  
の計画段階で発生するはずのアクティビティです。 Dは、TAがプロジェクトテストの一環として実  
行するテスト作業です。

---

#### 設問3 C

Cは正しいです。 具体的なテストケース（詳細な手順と定義されたデータを含む）は、回帰テストを  
実行する予定のある経験の浅いテスト担当者に使用する必要があります。  
ビジネスユーザーはテスト内の手順やデータを変更できますが、それでも文書化されたテストケース  
を提供できるため、UATには論理的または高レベルのテストケースを使用する必要があります。

---

#### 設問4 B

Bは正しいです。 終了基準は、テストがいつ行われるかを決定します。 終了基準は優先順位を定義  
するものではなく、達成されるべき目標を定義するだけなので、Aは正しくありません。 有効範囲は  
終了基準によって定義されているため、Cは正しくありません。 人間の分析がまだ必要であるため、  
Dは正しくありません。

---

#### 設問5 C

Cは正しいです。 10件のテストケースのうち9件が実行されました。 実行は彼らが合格したことを意  
味するものではありません。  
除外された唯一のテストは、まだ進行中のものです。

---

#### 設問6 D

Dは正しいです。 テストケースの機能が「合格」であったとしても、「例外で合格」となった25のテ  
ストケースは重大な欠陥を抱えている可能性があります。 テストケースが終了基準に対して「合  
格」または「不合格」と見なされるべきかどうかを判断するために、これらのテスト実行結果を調査  
する必要があります。「例外で合格」という数のため、Aは正しくありません。  
ケースはおそらく「合格」として分類されるべきです。 Bは正しくありません。いくつかの「合格し  
た例外」ケースは、おそらく「失敗」として分類されるはずですが、Cは正しくありませんが、本当に  
良い点であり、リスクも終了を評価する際の要素になるはずですが、この答えには影響しません。

---

#### 設問7 C

Cは正しいです。 これは、要件で指定されていない問題を文書化する必要があることをソフトウェア  
が実行している例です。 Aが指定されていない場合、テスターはその機能が存在するはずであると想  
定できないため、Aは正しくありません。 テストケースが要件に従って正しいので、Bは正しくあり  
ません。 Dは違います  
これは文書化され、テストケースのメモではなく、欠陥であるかどうかを確認するために調査される  
べきだからです。

---

#### 設問8 A

Aは正しいです。アジャイルモデルはTAからの最も早い関与を必要とします。Bは、要件文書の審査準備ができ次第、TAからの活動を要求します。CはVモデル内の反復モデルなので、関与している間はBと同じように機能します。Dは通常最新のもので、コードが書かれるまでは起こりません。

---

#### 設問9 C

Cは正しいです。テストケースは特定のテスト条件をテストするように設計されているため、テスト設計中にリスクと優先順位の割り当てが行われます。テスト実施段階では、テストケースは優先順位/リスクに基づいて実行されることが多い。

---

#### 設問10 A

Aは正しいです。この情報は多くの場合、サポートグループとメンテナンスグループに渡され、既知の問題とそれらの問題に対する回避策を理解するのに役立ちます。BとCを分析活動に入力する必要があります。Dは、分析活動からの出力であり、設計活動への入力です。

---

#### 設問11 B

Bは正しいです。このリスクは潜在的に深刻な問題であるため、Test Managerに引き上げる必要があります。

また、おそらくTest Managerを使用して、緩和アプローチに取り組むべきです。誰かがCCBを押し戻すならば、それはテストマネージャであるべきだから、Aは正しくない。テストの最終サイクルに入っているのだからCは正しくありません。そのため、すでに実行したテストに優先順位を付け直すことによるメリットはありません。D

スケジュールに合わないことになり、それが受け入れられないかもしれないので、これは正しくありません。

---

#### 設問12 C

Cは正しいです。各領域内の優先順位を見ながら、すべての領域でテストを行っているため、これは幅優先です。Aは深さ優先（純粹優先順位）です。Bは逆優先順位です。Dは幅をカバーしていますが、地域内の優先順位を考慮していません（U2はU1よりも先に来るべきです）。

---

#### 設問13 B

Bは、誰もが必要な情報に確実にアクセスできるようにするためのツールを利用した、優れたコミュニケーション方法です。Aは、オフショアチームにソフトウェアや環境がうまく機能していないことが多いため、良い方法ではありません。タイムゾーンの違いにより電話会議が非効率的になる可能性があり、またツールをうまく使用できないため、Cはお勧めできません。これはコミュニケーションを促進しないので、Dは正しくありません。

---

#### 設問14 D

Dは正しいです。テストする必要がある5つのパーティションがあります。  
低すぎる、\$ 1 - \$ 100、\$ 101 - \$ 500、\$ 500を超え、無効（高すぎる）

---

#### 設問15 D

有効なパーティション用のパーティション（文字数が少なすぎる）

1つは無効な上位パーティション用です（文字数が多すぎます）。質問には「文字」が指定されているので、英数字または特殊文字を回答に使用できます。Aは有効な区画で2つのテストを行います。Bは境界をテストしますが、有効な区画内に2つのテストがあります。Cは2つのテストが無効すぎる低すぎる

パーティション（文字数が少なすぎる） 負の値は関係ありません。

---

#### 設問16 C

Cは正しいです。 唯一の同値分割は3つのものです

2日以上の雨の日との組み合わせ。 可能なものは7つあります（雨、雨、晴/曇、雨、晴/曇、雨、晴/曇、雨、雨、雨、雨、雨）。 他のすべての組み合わせをテストする必要があります。 合計27の組み合わせがあります。 これらのうち、7つは同じなので、テストする必要があるのは1つだけです。 その結果、他の組み合わせでは20のテストケース、2 + 雨の日では1のテストケースが必要になります。 これら21のテストの中で、1つだけが水を持っていないので、スプレーの種類の5つの組み合わせは、水をもたらす天気との組み合わせのための21のテスト内でテストすることができます。

---

#### 設問17 D

Dは正しいです。 これは2つの値ですべての境界をカバーします

カバレッジ。 考慮する必要がある境界は、0、1、100、500、および最大使用量です（最大整数値がプッシュされて破損する可能性があります）。

---

#### 設問18 C

Cは正しいです。 100%の3値境界カバレッジを達成するには、74%、75%、76%、84%、85%、86%、94%、95%、96%をテストする必要があります。

---

#### 設問19 B

Bは正しいです。 これは、下限（2文字）のすぐ上の値、下限（3文字）、上限（10文字）、上限のすぐ上（11文字）の値をテストします。 質問には「文字」が指定されているため、英数字または特殊文字を使用してください。

答えに文字を使うことができます。 Aは有効な区画で2つのテストを行います。 Cは下限にはまったく対処せず、上限を超えた値だけを含みます。 Dは境界の外側の値を含みますが、境界自体は含みません。

---

## 設問20 C

Cは正しいです。フルに必要な16の列があります

意思決定表（表Aを参照）。

折りたたみ決定表には6つの列が必要です。（表B参照）。チルダ(~)の使用は何らかの値が存在する可能性があることを示しています。テストには影響しません。

また、テーブルを折りたたむには複数の方法があるので、異なる列が折りたたまれている場合は、ロジックに従っているかぎりそれが正しい場合もあります。テスターは常にテーブルを折りたたむことを前提としています。

折りたたまれたテーブルを読むとき：

1は必要ありません。貸方と借方の両方を取ることはできません

2は必要ありません。貸方と借方の両方を取ることはできません

3は必要ありません。貸方と借方の両方を取ることはできません

4は必要ありません。貸方と借方の両方を取ることはできません

5は必要ありません、クレジットカードはPINを必要としません

6が必要です、有効なクレジットカード、不十分な資金をカバー

7が必要です、有効なクレジットカード、十分な資金をカバー

6は不要で、8は必要ありません。

9が必要です、有効なデビットカード、十分な資金をカバー

10が必要で、有効なデビットカード、資金不足をカバー

11が必要です、有効なデビットカード、無効なPIN、資金をカバー

関係ない

12は必要ありません。11で覆われています

13、14、15はすべて16で覆われています

16両カード無効

#20, Table A:

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
Valid credit	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N
Valid debit	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
Valid PIN	Y	Y	N	N	Y	Y	N	N	Y	Y	N	N	Y	Y	N	N
Funds OK	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N
Approve	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	N	N	N	N	N	N

#20, Table B:

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
Valid credit	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N
Valid debit	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
Valid PIN	Y	Y	N	N	Y	~	~	N	Y	Y	N	N	Y	Y	N	~
Funds OK	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	~	N	Y	N	Y	~
Approve	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	N	N	N	N	N	N

---

#### 設問21 D

Dは正しいです。長さが有効であることを確認する必要があります（3-10）、長さが> 8かどうかを確認する必要があります。パスワードの文字も確認する必要があります。Aは文字をチェックせず、9または10文字のパスワードをチェックしないため、正しくありません。Bは長すぎるパスワードと有効なパスワードを区別できないが8文字を超えるため、正しくありません。Cは混合条件と結果であるため正しくありません。

---

#### 設問22 B

Bは正しいです。発生する可能性があるエラーは、パスワードの長さが間違っているか、正しい文字の組み合わせが入力されていないことです。入力文字の組み合わせに応じて適切な記号が表示されます。記号はパスワードが有効な場合にのみ表示されるため、有効なパスワードという特別な結果は必要ありません。Aは無効なパスワードの理由を定義しておらず、記号を考慮していないため、正しくありません。Cはブール値である必要があるためCは正しくありません。有効な長さや無効な長さは必要ありません。一方の「いいえ」は常に他方の「はい」になります。それはまた作りませんどの文字が欠けているかを示す意味  
その情報はすでに条件の中で提供されているので、それは決定の結果ではありません。長さは条件であり、決定結果ではないため、Dは正しくありません。  
表示されるシンボルに非ブール値を使用することもお勧めできません。

---

#### 設問23 C

Cは正しいです。これらは状態遷移表の列の正しいラベルです。

---

#### 設問24 C

Cは正しいです。テーブルの各行に1つずつ、合計8つのテストケースが必要です。これは0スイッチのカバレッジなので、開始状態から終了状態に移行するためのイベントが1つだけテストされています。

---

**設問25 B**

Bは正しいです。それは両方の状態遷移を示しています。

ユーザー名とパスワードの有効な組み合わせ、および無効な組み合わせの場合は1つです。Aは無効な組み合わせへの移行を示していないため、正しくありません。

Cは、ログイン状態からの遷移のみを望んでいるとの質問に記載されているため、Cは正しくありません。Dは同じ理由で正しくなく、最初の遷移と重複しています。状態遷移表に重複行があってはなりません。

---

**設問26 B**

Bは正しいです。12のテストケースが必要です。最長リスト（4）に2番目の最長（3）を掛けたものが、必要な答えです。表Cは、完全ペアワイズ展開から生成される表を示しています。

#26, Table C:

Manufacturer	Buy/Sell/Trade	Facility	Credit/Debit
N	B	1	C
N	S	2	D
N	T	3	C
TM	B	3	D
TM	S	2	C
TM	T	1	D
C	B	2	C
C	S	3	D
C	T	1	C
T	B	3	D
T	S	1	C
T	T	2	D

---

**設問27 B**

次の表によると、Bは正しいです。

1 1 1

2 1 2

3 1 1

1 2 2

2 2 1

3 2 2

ペア補償は、オプションの各ペアがカバーされることを意味します。この場合、最初の列は色に関する3つのオプションを表します。1列目と2列目には、これら2つの値のすべての組み合わせが作成されています。2列目と3列目には、ブランドとスロットのすべての組み合わせが含まれています。列1と3では、色とスロットのすべての組み合わせが網羅されています。

---

**設問28 A**

Aは正しいです。シングルトンの適用範囲は、各項目が少なくとも一度は表示されなければならないことを意味します。最大数のオプションセットに番号を使用することで、すべてを一度に使用できることが保証されます。

---

**設問29 C**

Cは正しいです。分類ツリーは組み合わせのグラフィカル表現を提供し、ユーザーがテスト値がどのように導き出されるかを見ることを可能にします。AとDはグラフィカルな手法ではありません。Bは本物ではない。

---

**設問30 B**

Bは正しいです。EPIは、可能性のあるすべてのオプションからツリーの合理的な数のノードを作成するためのオプションを制限するために使用されることが多く、非常に大きくなる可能性があります。

---

**設問31 A**

Aは正しいです。9つのテストケースのそれぞれが実行されると、ペアワイズカバレッジが得られます。各項目は少なくとも1回テストされるので、シングルトンカバレッジも達成されます。

---

**設問32 C**

Cは正しいです。代替パスは、可能であれば個別にテストする必要があります。これにより、欠陥を隠すリスクが制限されるためです。代替パスがまとめてテストされたため100%のカバレッジが達成されていないため、Aは正しくありません。手順7は手順6の後には実行できないため、Bは正しくありません。テストケース2はすべての代替パスを網羅しているため、Dは正しくありませんが、1つのテストケースでそれらを実行します。

### 設問33 C

Cは正しいです。最低5つのケースが必要です。1つはメインパス用、もう1つは各代替パス用です（1a、3a、4a、6a）。実際には、優れたテスターには5よりも多くのテストケースがあります。いくつかの代替パスをまとめてテストすることはできますが、失敗を隠す危険性があります。最低限のカバレッジを確保する場合は、各代替パスを別々にテストする方が安全です。例えば、1、2、3a、3b、3c、4、5、6、7をテストします。

---

### 設問34 A

Aは正しいです。最低限の適用範囲のために5つのテストが必要であり、それらのうち2つだけが実行されました。

---

### 設問35 C

この問題は3つの遷移で発生しているように思われます。これは2スイッチテストでテストされます。無効な遷移が問題になるとは思われないため、Dは正しくありません。問題は有効な遷移を許可しないことにあるようです。

---

### 設問36 B

境界値分析は、特に丸めに関して、すべての金銭取引が適切に処理されるようにするために必要になります。クラシフィケーションツリーは、相互作用しない条件に適用できます。この質問は、四捨五入と振替情報に基づいて正確な金額を決定することを扱っています。状態が電信送金で使用されているという指示がないので、Cは正しくありません。デシジョンテーブルが必要であることを示すであろうビジネス規則が質問に引用されていないため、Dは正しくありません。

---

### 設問37 C

ソフトウェアには多数のルールが埋め込まれているため、デシジョンテーブルが最善の方法です。他のテクニックはソフトウェアの他の部分に役立つかもしれませんが、問題に示された例は決定表で最もよくテストされるでしょう。

---

### 設問38 C

Cは正しいです。経験ベースの技法を使用して、不完全な仕様のギャップを埋めることができます。探索的試験はこの能力においてしばしば使用される。

Aは経験ベースのテクニックなので正しくありません

経験豊富なテスターによって使用されるべきです。これらの技法は、適切な要件がある場合に適用される他の技法のギャップを埋めるためにうまく機能するため、Bは正しくありません。Dは正しくありません。経験ベースの手法では、カバレッジやトレーサビリティに関する情報が不十分になりがちです。

---

### 設問39 A

Aが最も正しいチャータです。どの領域をテストするかを説明してから、有効なカードの使い方と無効なカードの使い方を指定します。

このテストセッションでは、カバレッジ情報がいくつか得られ、クレジットカードやデビットカードの処理に関する要件へのトレーサビリティがサポートされます。BとDはあまりにも曖昧すぎて役に立ちません。購入後にアイテムを削除することは許可されず、テストの目的ではなく手順が指定されているため、Cは実際には意味を成しません。

---



Dは正しいです。チェックリストテストは、テスト対象の概要がすでにわかっており、テストを実行する予定のこれらの経験豊富なユーザーのためにチェックリストとして簡単に作成できるため、最も適しています。既知のエラーパターンやシナリオに関する質問には何もなかったため、Aは正しくありません。

Bは、ユーザーがデータとステップを決定できるようにするためのガイドラインとして既存のテストケースを使用するため、既存のテストケースの範囲内であるため、正しくありません。ユースケースはないのでCは正しくありませんが、もしある場合はステップが定義されているでしょう。

あなたが許可された購入限度の境界を心配しているので、Aがここで最も良い選択です、そして、それは同値分割が同様に役に立つかもしれない可能性が高いです。ドメイン分析により、BVAとEPの両方が得られます。ここでは移行中の状態がないため、Bは役に立ちません。Cは最良の選択ではありません。決定は行われていますが、特定の値に集中することが必要であり、それはAによってよりよくカバーされるでしょう。

Bは正しいです。既知の欠陥領域が多数あることを考えると、分類法を作成して欠陥ベースのテストを実行するのが合理的です。集中が既知の障害領域に集中している場合は意味がありますが、使用頻度の高い領域に集中しているため、リスクが高い場合もそうでない場合もあります。Cは回帰テストには役立つかもしれませんが、一次テストには正しくありません。ペアワイズテストではできないので、Dは正しくありません。

Aは正しいです。以下の表Dに示すように、5つのテストケースが合格、10が不合格となります。

Var	Cond		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
Food	F >=0	On	0														
		Off		-1													
		Out			-2												
	F <=20	On				20											
		Off					21										
		Out						22									
	Typical	In							10	10	10	10	10	10	10	10	10
Toy	T >= 0	On							0								
		Off								-1							
		Out									-5						
	T <=5	On										5					
		Off											6				
		Out												10			
	Typical	In	0	0	0	2	3	4							5	6	7
F / T	F-T>=5	On													5		
		Off														4	
		Out															3
	Typical	In				18	18	18	10	11	15	5	4	0			
Result			P	F	F	P	F	F	P	F	F	P	F	F	P	F	F

**設問44 A**

Aは正しいです。因果関係グラフは、決定表に含めることができる決定情報のグラフィカル表示です。

---

**設問45 D**

Dは正しいです。受け入れ基準は、ストーリーの対象範囲を測定するために使用されます。もちろん、この方法の正確さは合格基準がどれほどうまく定義されたかに依存します。

---

**設問46 D**

Dは正しいです。相互運用性テストでは、多くの環境の組み合わせをテストする必要があるため、これらがソフトウェアの動作に悪影響を及ぼさないようにする必要があります。組み合わせテストはこれによく適しています。Aは使用されるかもしれませんが、おそらく最終的なチェックとしてのみ使用され、基本的な手法ではありません。

Bは、EPとBVAの組み合わせに集中するため、適用されません。Cは有用かもしれませんが、以前の相互運用性テストから分類法が利用可能である場合に限りです。

---

**設問47 A**

Aは正しいです。これがあなたの最初の日であることを考えると、あなたは最初にソフトウェアが何をすべきかを理解する必要があります。あなたがそれを知った後、Bは顧客が何を期待しているのかを明確にすることに意味があるでしょう。CとDは時間がかり過ぎます。

---

**設問48 D**

Dは正しいです。1は構文のテストです（入力フィールドに入力できるもの）。5は意味論（妥当で意味のあるエラーメッセージ）のテストです。2はナビゲーションのテストです。

3は学習可能性のテストです。4はアクセシビリティのテストです。

---

**設問49 D**

Dは正しいです。調査は展開されており、対応するユーザーが多数いるため、この情報を入手するには調査が最善の方法です。Aは正しくありません。

インターフェースが設計されていました。ラボでは参加者の数がかなり制限されているため、Bは正しくありません。Dは、実際のユーザーからのより幅広い入力セットを提供します。興味のない顧客がアクセシビリティの問題を抱えている可能性があるという示唆がないため、Cは正しくありません。また、放棄率はそれほど高くなく、人々がサイトを見つけたら、そこにとどまることを示しています。

---

**設問50 A**

Aは正しいです。要件レビュー会議を終了するときには、テスト作業をサポートするのに十分な情報が必要です。Bは正しくないため、レビュー中または別のスケジュールされたレビューで発生するはずですが、CとDは、要求レビューではなく、設計レビューから得られると思われる情報です。

---

**設問51 B**

Bは正しいです。この一連の手順では、代替のフローは表示されません。そして、あなたはステップ3と4の順番でカウンターを一掃する必要があるかもしれません！これがメインフローであるため、Aは正しくありません。Cはユーザーストーリーにのみ適用されるため、Cは正しくありません。アクセシビリティ要件は通常ユースケースレベルでは示されていないため、Dは正しくありません。

---

**設問52 D**

Dは正しいです。エラーメッセージが定義されておらず、正しく実装されていないか、誤解を招く可能性があります。質問の語幹が定義されていると言っているのでAは正しくありません。BとCは、モバイルアプリケーションにとって重要ではありません。

---

**設問53 A**

Aは正しいです。ユーザーストーリーには1つの機能項目のみを含める必要があります。保存と印刷は2つの項目であり、2つの別々のストーリーに記録する必要があります。BとCは、ストーリーを使用しないユースケースに適用されます。依存関係がないように見えるので、Dは問題になりません。

---

**設問54 C**

Cは正しいです。物語は2週間のスプリントには大きすぎる。

合格基準はすべて定義されているわけではなく（たとえば、ポイント数に制限がありますか？購入間でポイントを分割できますか？）、すべてテスト可能というわけではありません（使用可能か、効率的か）。機能は明確に定義されておらず、ストーリーには複数の機能項目（登録とポイントの使用）が含まれています。5が正しく行われ、物語に優先順位があります。4は不明ですが、定義されていないので、おそらく依存関係はないと結論付けるでしょう（もちろん、それは危険かもしれません...）。

---

**設問55 C**

Cは正しいです。欠陥が導入されたのと同じフェーズで欠陥が見つかった場合、その欠陥のコストは最小限に抑えられます。これは完全なフェーズ封じ込めです。

---

**設問56 C**

Cは正しいです。根本原因分析の目的は、問題の一般的な原因を見つけてそれらの問題を排除し、それによってプロセス全体を改善することです。何を探すべきか知っているのがあなたはより早く欠陥を見つけるかもしれないが、これはRCAの目的ではないのでAは正しくない。Bは開発者をターゲットにしようとしているのではなく、むしろパターンを探しているので間違いなく正しくありません。根本原因分析は、問題の原因ではなく、問題の原因を特定するため、Dは正しくありません。

---

**設問57 A**

Aは正しいです。これらはすべて誤検知です。

問題がない場合は報告されます。テスターは問題を報告する前にさらに調査を行うべきだったので、これはテスターのエラーです。コードロジックに問題がないため、Bは正しくありません。CとDは問題かもしれませんが、テスターは欠陥を文書化する前にそれらをチェックしているはずです。

---

**設問58 B**

Bは正しいです。要件が明確に述べられているので、それは要件の問題ではありません。小さい画面でソフトウェアが正しく動作しない原因となっている実装の種類に関して、設計上の決定が下された可能性があります。これが特定のブラウザだけの問題である場合、それはコーディングの問題ですが、問題はより広範囲に及ぶため、設計上の問題である可能性があります。

---

**設問59 C**

Cは正しいです。これはデータ処理の問題です。要件の欠落が原因であった可能性があります、誤ったデータ処理はより明確な分類であり、より広範なデータでさらなるテストが必要であることを直ちに示します。

---

**設問60 B**

Bは正しいです。これはTAの仕事です。なぜなら彼らはドメインを知っていて、オートメーションで使用するための正確なデータとキーワードを供給できるからです。Aはデータ駆動型に当てはまりません。CはTTAの仕事です。TAは入力パラメーターの定義において積極的な役割を果たしているため、Dは正しくありません。